

反映できないもの

19 件

区 分		番号	意見・提案	対 応
2 「近くて楽しい動物園」	7つのコンセプト	1	狭い、今の2倍の広さにしてはどうか。	2-(1)-アにありますように、現在地での再整備を基本方針としており、限られた面積を最大限に活用し、限られた敷地の中で、魅力ある展示と、動物を心身ともに健康に飼育できることを目指しております。現在のところ、敷地を2倍の広さにするのは困難であります。
		2	通路は砂利、砂、石畳にし、閉園後は動物を放して運動場にしてはどうか。	2-(2)-イにありますように、段差のない園路を設け、全ての人に優しい動物園を目指してまいります。閉園後に動物を園路に放すことは安全管理上困難であります。
3 魅力ある展示に向けた施設整備	展示コンセプト	3	飼育動物は、草食動物に限定して放牧してほしい。	3-(1)-イにありますように、これまで飼育していた動物を継承することを基本としながら、限られた敷地の中で動物ごとに適正なスペースが確保できるように飼育動物種の選定を行ってまいります。御提案にある草食動物に限定した放牧を行うことは管理上困難であります。
		4	敷地面積の狭い獣舎は、地下も利用すべきである。	3-(1)-イにありますように、限られた敷地の中で動物ごとに適正なスペースが確保できるように飼育動物種の選定をすることを基本としております。地下空間の利用は、法制面やコスト面から困難であります。
		5	敷地が狭く高さ制限があるので地下を利用してはどうか	
		6	動物パフォーマンス(フラミンゴの行列とダンス)をしてほしい。	3-(2)-アにありますように、動物福祉の立場から、飼育動物が心身ともに健康で暮らせるような飼育環境を提供していくことをコンセプトにしております。動物の生態を正しく知っていただくためのガイド等は積極的に実施してまいります。見世物的なパフォーマンスの実施は考えておりません。
		7	サファリランド的に生態(息)地に近い展示を行ってはどうか。少しの工夫で動物の生態がよりリアルに体験できる。旭山動物園の真似でも全くかまわない。	2-(2)-アにありますように、本園では「近く」で動物たちの姿や行動、能力を実感し、生息地に思いを馳せる、そうした感性と想像力を育む独創的な展示を目指しており、御指摘のサファリランド的な展示はスペース的にも困難であるため、考えておりません。
4 ゾーンテーマに応じた施設整備	ふれあい広場「おとぎの国」整備事業	8	ロバ、ラクダに乗れるふれあいも大事である。	4-(1)にありますように、動物とのふれあいににつきましては、「おとぎの国」を整備し充実してまいります。なお、現在飼育しているロバは、小型の品種で、高齢であるため乗っていただけません。
	教育・管理施設整備事業	9	半球状の映像館を設け、ここでしかみることができない映像を流がせないか。	限られた予算の中で特殊な映像提供専用施設の設置は困難ですが、情報発信の推進として本園の動物動画コンテンツの開発を検討しております。

区 分		番号	意見・提案	対 応
5 活性化に向けた取組	市民との共汗でつくる動物園	10	専用の餌が購入できて、動物達に自由に餌やりができれば楽しい。	5-(3)-イにありますように、動物を理解していただくための一つの手法として動物にエサをあげるイベントを実施していますが、動物の健康管理上、自由にエサやりをしていただくことは考えておりません。
その他		11	赤字である京都市に動物園を改修する余裕はない。市民の税金や市職員の負担を増やすのはやめてほしい。	本園は、市民の手によって創設されてから107年目を迎え、施設の老朽化が進み至急の改修が必要な施設が多く、「種の保存」と「環境教育」、「研究」を実践する動物園にふさわしい施設に整備する時期を迎えておりますので、市民の皆様の御理解をお願い致します。
		12	疏水を利用して水鳥を呼び、アトラクションとしてえさやりをやってほしい。	疏水だけではなく、園内には四季折々の野鳥が訪れ、これまでも探鳥会等を催しておりますが、生態系への影響と防疫上の観点から餌付をして野鳥を積極的に呼ぶことは考えておりません。
		13	餌台を置いて野生の鳥を呼んでほしい。	園内には四季折々の野鳥が訪れ、これまでも探鳥会等を催しておりますが、生態系への影響と防疫上の観点から餌付をして野鳥を積極的に呼ぶことは考えておりません。
		14	府が鴨川で刈った草を動物の餌にすれば、処分費と餌代の経費の削減になる。	動物のエサは、安全性と品質が重要でありますので、御提案の実現は困難であります。
		15	希少動物のひげ、羽等をオークションを開催し、イベントとして販売してはどうか。	希少動物は、「絶滅の恐れのある野生動植物種の保存に関する法律」によって羽などの派生物についても販売等は禁止されております。実施することは困難であります。
		16	捨て犬・猫を展示し、啓発してはどうか。	動物園では、野生動物を観察いただくことで「ここに癒しを感じ、「いのちの大切さ」を御理解いただけるよう種の保存や環境教育を実践しております。なお、犬や猫等の愛玩動物につきまちは、「動物の愛護及び管理に関する法律」を所管する部局で啓発活動等を推進しているところであります。動物園や関係部局がそれぞれの取組を充実させることで、御提案の啓発を進めていくことが重要でありますので、本園で捨て犬、捨て猫の展示は考えておりません。
		17	動物のいるオリの周りを走る汽車のような乗り物で動物園を走りたい。	本園は、敷地面積が狭い特長を活かして、全ての人に優しく「歩いて楽しい動物園」を目指してまいりますので、御提案のような乗り物の新設は考えておりません。
		18	動物ショーをしてほしい。	動物の生態を正しく知っていただくためのガイド等は積極的に実施してまいります。動物に負担となる行為は慎重にすべきであると考えております。

区 分	番号	意見・提案	対 応
その他	19	名称を「京都岡崎動物園」もしくは「ZOOー京都岡崎」など親しみやすいネームにしてはどうか。	「京都市動物園」という名称については、本園が本市と市民の皆様によって創設されたという経過の中で、多くの皆様から親しまれ、愛されている名称であると考えております。なお、動物園をより親しみやすくする取組として、平成20年12月にロゴマーク及びシンボルマークを公募し、新たに使用を始め好評を得ております。今後も引き続き、多くの皆様に親しまれ、愛されますよう御意見をお聞きしながら取り組んでまいります。